

第2回 岩内町東地区学校運営協議会・議事録

令和元年10月31日(火) 19:00～

岩内町立岩内東小学校 会議室

記録者：岩内町立岩内第一中学校・工藤

□司会：佐古岡委員（岩内町立岩内東小学校教頭）

1. 開会

（佐古岡委員）

みなさんこんばんは。もう1名こちらへ向かっているというところですが、お時間になりましたので第2回岩内町東地区学校運営協議会を始めさせていただきます。本日は会場が東小学校ということで司会を私、東小学校の教頭佐古岡が務めます。よろしくお願い致します。では、まずはじめに会長の佐藤さんよりご挨拶をいただきます。

2. 会長挨拶

（会長 佐藤委員）

こんばんは。お元気でしょうか。今日も子供たちのために活発によろしくお願い致します。以上です。

3. 議題（前期学校評価の結果）

（司会：佐古岡委員）

ありがとうございました。では、早速議題に入りますが、その前にお手元の資料を確認させてください。まずはじめに、「第2回 岩内町東地区学校運営協議会」と書かれている本日のレジユメ、そして今日お集まりの皆様のお名前が書いてある「名簿」。さらに、カラー刷りのもので「岩内東小学校の取り組み」・「第一中学校の取り組み」。それぞれございますか？そして、ちょっと大きなA3判になりますが、東小学校、それから一中のそれぞれのアンケートの結果をまとめたもの。以上が今日の資料となっております。それでは、早速ですが、「前期学校評価の結果」についてそれぞれの学校からお話をしていくことにします。

（岩内東小学校：佐古岡委員）

まず最初に、岩内東小学校の方から参ります。大きな用紙の方をご覧ください。岩内東小学校の保護者アンケートですが、昨年度までは年に1回12月にとっていただけだったのですが、改善を図っていくというスパンを短くすることと、教職員と児童については年に2回とっているということもありまして、保護者についても同じような時期にアンケートを取ることになりました。そしてアンケートの項目もできるだけ整えまして、比べて見れるように改善を図っています。右側はその三者の比較をしたものとなっております。左側は、保護者アンケートの集計結果です。学校だよりでも載せてありましたので、ご覧になっていただいた方も多かかなと思われま。大きく「知」「徳」「体」に分けてアンケート項目を設定しています。回収率については80%に満たなく、ちょっと残念かなと思っておりますが、こちらの方の呼びかけが若干足りなかつたのかなと思っておりますので、後期に向けてはもう少し回収率を上げていきたいと考えております。では、「知」基礎基本の定着に係ることということで、こちらの方でいきますと

6番目の項目が一番高い評価を得ておりますが、逆に黄色い色になっておりますが、「お子さんは考えを言葉で伝えたり、文章で表現をしたりしていますか」との質問には低い結果となっております。2番目「徳」道徳・生活指導に関わることは**3.13**ということでしたので高い評価をいただきました。しかし、「C」や「D」にもまだ評価がありますので改善を図っていきたいと考えています。3番目、「体」体力向上・健康に関わることも高い評価を得ていますので、生活習慣・リズムを含めた保護者の方々と一緒に取り組んでいかなければならないかなと考えております。その他の項目ですが、こちらも高い評価を得てありがたいなと思います。おたより等をできるだけ発行して伝えるよう努めております。本校では、ホームページの更新がなかなかタイムリーな話題をお届けできていないところもあるので、そこは改善していけたらいいかなと考えております。一番下自由記述の欄では、ありがたいお言葉やこれから考えていかなければならないことなどもいただきました。右側の方にいきますが、先ほどの基礎基本定着に関わる部分で、保護者の方はもう少しできるのではないかなというような期待があるようで、保護者の方の結果はやや辛いと言いますか、「頑張れよ」というようなそんなところが見えているなと思います。子供たちの方は、自己肯定感も上がってきていることもあり、自分たちはこんなことができている、こんなところを頑張ったよというような、そういう結果が出ております。ただ、この差があるところは、それぞれ比較の上で下の方の考察のところにもありますが、一体となってやっていくことが必要だなというふうにも考えておりますので、これから後期も始まっていますが活かしていきたいと考えております。実際にもう活かし始めていて学級・学年、それぞれの行事ですとか、いろんな取り組み、学習活動から改善を図っているところです。以上、岩内東小学校の前期学校評価についてお話ししました。

(司会・佐古岡委員)

続いて、岩内第一中学校の学校評価の方をお願い致します。

(岩内第一中学校・野崎委員)

改めましてこんばんは。第一中学校教頭の野崎です。本校の前期の学校評価について資料をもとに説明をさせていただきます。お手元にお配りしました資料につきましては、本校の「学校だより第7号」になります。保護者アンケートの結果をもとに今後の改善点を記載した資料になります。お手元の資料をご覧ください。まずは、回収率について表の上段に記載していますが、**94.3%**という高い回収率をいただきました。昨年度、加藤校長先生が赴任当初から保護者の皆様から頂いたご意見をもとに学校経営をしていくんだということで、昨年度の学期早々、4月の参観日の時に保護者の方にこの部分の回収率の協力をお願いしまして、昨年度から大幅な数値の改善がみられております。本校132名の生徒の中で家庭数が120というところで115件から回収をいただき、**94.3%**という回収率をいただいております。残念ながら不登校等で学校に足の向かないそういった生徒の状況を考えれば、実質的にはほぼ皆様からご意見をいただいているという状況がうかがえると思います。表の質問項目と数値についてですが、4段階評価で学校改善についてのご意見をいただいております。3以上を肯定評価、3.0未満を今後改善のある評価というふうにしてとらえました。さらに、表の右側に昨年度の後期の数値を載せております。それに対して、改善が見られたものを青抜き黒字で、そして上向きの矢印。数値が下がってしまった部分については赤抜き黒数値、そして下向きの矢印というような形でまとめております。ご覧いただきたいのは(1)学校の教育活動についての③の項目です。「学校は保護者や地域の意見を聞き、その期待に応えていますか。」という数値が昨年度比で**0.3**ポイント向上しております。これについて具体的に説明をしますが、昨年度の学校評価の中でいわゆる学習用具の持ち帰りと、子供たちのカバン

重量軽減における問題をご指摘頂きました。これについて社会的にも全国各地で問題となっているところですが、保護者の方から頂いたご意見をもとに今年度からすべての学習用具を学校に置いていっても良い。というルールに改めました。その一方で家庭学習への取り組みの課題が残りますので、自分で家庭学習の用具を考えて、少なくとも1教科は学習用具を家庭に持って帰って家庭学習の定着を図りましょう。という方向に変更しました。そのあたりが関連しまして(2)「お子さんの学習や生活について」という部分の⑥「お子さんは、家庭学習の習慣が定着していると思いますか」という項目が昨年後期から**0.3**ポイント上昇しております。ご指摘頂いた重量負担についての軽減を図るという改善策を図りながら、家庭学習の定着を図るというような方策を踏まえてこの2つの項目で上昇が見られたというところをこの場を借りてご報告させていただきます。前後しますが、(1)の②の部分です。関連して①の部分もありますが、学校の様子を家庭・地域に広く発信しているかという部分についての項目**3.4**ポイントと高い数値をいただいております。このあたりはここにいます本校の事務職員、工藤事務職員が中心になりながら、学校ホームページの方を基本的に毎日の更新を心掛けて行っております。今、会議の冒頭、始まる前に私のスマートフォンから本校のホームページの数を確認したのですが、13万件を超えるようなアクセス数をいただいておりますので、学校だよりですとか本校では給食の試食会というものを行いまして、子供たちが実際に食事をする給食を保護者の方にも食べて頂こうという取り組みを授業参観とタイアップして行っておりますので、そういった取り組みがこういった評価としていただいているのかなと思います。一方で今後の改善項目として特に重く受け止めているのが同じく(1)の⑧です。「学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいますか。」という項目で昨年度比で**0.2**ポイント減少、**2.9**ポイントとなっております。残念ながらこの部分「いじめ」という部分を認知せざるを得ないという事象が、が1件ございました。この部分についての保護者の方々からの評価であるというふうに重く受け止めております。該当の「いじめ」として認知をした件につきましては、家庭も、該当生徒も含めて収束を見ておりますけれど、まだ一定期間の時間が経過しておりませんのでまだ完全に解決しているというふうに油断はしておりません。ただ、その一方で今後に向けて学校全体で日常生活も含めて、いじめのない学校づくりを進めていきたいと思っておりますし、我々教職員が関わるということ以上に、子供たち同士で自浄作用と言いますか、生徒会として何かできないかというような方策を含めて今後後期の取り組みとして位置付けながら学校改善を図っていきたいと考えております。他の部分の数値や質問項目、それと学校としてどのような方法で後期学校改善を図るのかということのコメントにつきましては、右側の方にまとめて記載してありますので、その部分でご理解いただきたいと思います。

以上で第一中学校からの説明を終わります。

(司会：佐古岡委員)

ありがとうございました。こちらについての質疑ですとかは、後ほどまとめてということをお願いしたいと思います。続いて前期の活動報告を行います。

4. 議題 (前期の活動報告)

(岩内東小学校：佐古岡委員)

カラー刷りの資料の方をご覧ください。岩内東小学校の取組から参ります。岩内東小学校の前期の取組ですが、今年度は48名の1年生が入学し、児童数が301名でスタートしました。途中、2名が転出しましたので、現在は299名の在籍です。来年度から全面実施となります、“新学習指導要領”の移行期間

の2年目なわけですが、昨年度に引き続き、3年生・4年生は週1時間の外国語活動、5年生・6年生は週2時間の外国語活動を行っております。どちらも町の方で、ALTが来てくださっていますので、担任とALTで行っています。また、プログラミング教育という言葉も委員の皆様もたびたび耳にしているのかなと思いますが、こちらについても、来年度から実施するという事になっていきますので、全教員で職員室の校務用パソコンを使って実際に実技講習を行っております。実際に隣にいる主幹教諭の鎌田先生が講師になってみんなでわかりやすく、あまり難しく考えないで、そのような研修を積んでいるところで

めくっていただきまして、本校の確かな学力を身に付けるために実施している習熟度別学習についてお話しします。1年生につきましては習熟度別を実施せず、支援員を配置し、個に応じた支援を行っております。こちらも町の方で4人の支援員さんをつけていただいておりますので、その4人の方々は時には2人配置をしたり、協力をしながら行っております。写真は、2年生の“なるほどコース”の授業の様子です。“はてなコース”と“なるほどコース”2つありますが、なるほどを2つに分けて全部で3つというような設定となっております。写真で言いますと、算数担当教諭と支援員さんとで、きめ細かな指導を行っている様子です。子供の目線に合わせてしゃがみこんで一人一人に寄り添ったきめ細やかな指導をしているところです。2年生以上については、なるほど、はてな、各学年の担任と算数担当の教務主任が授業を行います。このコースの決定については、レディネステストという事前のテストを行い、児童本人に希望のコースを選択させます。子供の苦手得意の教科、領域といいますが、図形が得意だ苦手だとかそういうような、単元によって違いがありますので、その都度そのようなレディネステストと希望を取ることをしています。また、それだけではなく、過去の単元テストの結果をもとにしたりしながら学級担任と算数担当で協議して決定しています。子供に優越感や劣等感を生じさないようにすることと、学習意欲が低下しないようにすることを十分に気を付けて取り組んでいるところです。この習熟度別学習は、学校の取組として今年度が2年目となっております。理解や問題を解くことに時間がかかりがちの子供たちの算数への意欲というものがとても高まっているということが成果として挙げられています。

続いてめくっていただきまして、体力作りについてです。本校では、健やかな体の育成に向けて、全学年で新体力テストの全種目を実施しています。新体力テストというのは、国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る国としての施策の成果と課題を検証しているものです。小学5年生と中学2年生を対象としているものですが、本校では全学年ということで行っています。これを年間行事予定に位置付けまして、結果の集約・分析をもとに、では子供たちにはどんな力を付けさせていけばよいか、具体的にどのような運動をさせていけばよいかということにつながっています。本校の課題として「持久力」があげられておりますので、シャトルランを年に4回実施することや、この写真にあるような年1回のマラソン記録会を実施して、体力向上と運動への関心の向上に努めています。9月27日に実施しました。保護者の方も多数、応援に駆けつけてくれますので、本番は子供たちが本当に気合の入った走りを見せてくれています。

続きまして、豊かな心を育む体験活動ということでゲストティーチャーの授業についてお話しします。地域の人材の有効活用や地域の施設を利用した授業を各学年で積極的に取り入れています。左の写真ですが、7月8日に行われた6年生の陸上競技の授業です。オホーツクアスレチッククラブのヘッドコーチをされている「金子航太（かねこ こうた）」さんという方をゲストティーチャーとしてお招きして行っています。この日は、現役アスリートの「橋本尚弥（はしもと なおや）」さんも一緒に来てくださって

2人で6年生の授業を実施していただきました。お二人とも専門は走り幅跳びということで、7m以上を跳ぶ方が実際に飛んでみて「すごいそんな跳べるんだ」とか、そんな感じでやってくださったそうです。実はこの金子さんという方は、本校の池田教諭の教え子ということで、依頼したところ、はるばるオホーツクからやって来ていただきました。昨年もということで、今年は陸上競技場をお借りして本格的にやることが出来ました。右の写真は、8月23日に実施した俳句教室です。町内にお住いの「松本澄（まつもと きよし）」さん、俳句連盟の方ですが、来ていただいています。いつも丁寧に教えていただいています。今回も俳句の賞などをこの中から受け取ることが出来ました。岩内町にはまだまだたくさんの貴重な人材がいらっしゃると思いますので、この場にいらっしゃる方々からもたくさん情報をいただいて、さらに充実した活動をしていきたいと考えております。

続いて集会活動です。本校では、今年度から児童会活動とクラブ活動を通年で行うことにしました。1年間を通して1つの委員会・クラブ活動をするということです。時数を確保して子供たちの自主性・社会性を養うための改善です。左と、右上の写真は、生活委員会が企画した「いじめをなくそう集会」です。クイズや寸劇を通して、いじめをなくす意識を高める活動ということで、子供たちが企画して実施しています。右下の写真は、代表委員会が企画した「全校集会」です。縦割りのグループを作りまして、協力して問題に答えるという活動です。写真はございませんが、図書委員会が企画した「図書集会」というものも行っています。どの委員会も、目的をもって企画しており、これらの活動はすべて授業中ではなく中休みに集まって行っています。時間を上手に使い、企画する側も参加する側も負担なく、楽しくできるそういう取組となっております。

最後に、音楽クラブについてご紹介します。この音楽クラブは、教育課程に位置付けられていませんが、少年団活動のような形で、長年組織されて活動されているクラブです。現在は4年生8名、5年生7名、6年生10名の合計25名で活動しており、2年前から男子が増えていまして、今年度は男子10名、女子15名という構成となっております。週2回練習し、8月には写真にある通り、怒涛祭りに出演いたしました。毎年2月に定期演奏会を行っておりますのでぜひ見に来ていただけたらと思います。なお、この定期演奏会は一中の吹奏楽部さんも来ていただいて一緒に演奏する機会をいただいています。これも小中連携かなと思います。たくさんの方に来ていただけるとありがたいです。

以上、これまでの岩内東小学校の活動についてお話いたしました。ありがとうございました。

(司会：佐古岡委員) 続いて、岩内第一中学校の取組です。

(岩内第一中学校・野崎委員)

改めて第一中学校の取組について説明をさせていただきます。

本校では、今後のコミュニティ・スクールの活動を見据え、「地域の方々と学校の関係づくりについて」という視点で、今年度前期に本校が行った実践を、資料をもとにお話をさせていただきます。表紙の写真は、岩内町の栄養教諭による、1年生の食に関する指導の授業風景です。本来的に栄養教諭は、町内各学校の食に関する全体指導計画を作成しまして、各教科をはじめとする、日常生活全般において、食に関する指導と助言を行う役割を担います。したがって、実際に学校に来ていただいて授業を行うことだけが栄養教諭の必須事項ではありません。今後は、地域の方にゲストティーチャーの役割を務めていただき、例えば、家庭科の授業の中に中学校3年生で「地域の食文化」という授業があります。もちろん調理時実習を兼ねるようなそういった方法でも構いません。そういった授業の中に、例えば岩内の食文化ですとか、後志の特産品を活かした調理ですとか、そういった形で子供たちに指導していただければと、

授業またはコミュニティスクールとしての色合いも深くなっていくのではないかとこのように思います。

2 ページ目をご覧ください。今年度、岩内第一中学校では、PTA サポーター制度を導入しました。導入したと言いますか、PTA の在り方について大きな変更を行ったというように理解していただきたいと、思います。これは、全家庭・全保護者による PTA 活動の推進を図ったものです。昨年度までは、お手元の資料に記載の活動を、各 PTA 専門委員会の活動に位置付けていました。そのような中近年、生徒数の減少に伴う PTA 活動の低迷・低下、家庭数も当然減っていくわけですから、そういった部分で委員さんの成り手不足に拍車がかかりまして、PTA 役員・委員さんの負担は増える一方でした。また、その担い手に奔走する学級担任、業務の調整を図る教職員の負担は、増加の一途をたどるばかりで、学級担任が年度当初に行う家庭訪問では、PTA 役員の依頼に終始して大事な保護者との相談がままならないというケースもざらでした。このような課題を解決するためにサポーター制度と銘打った制度を導入しました。年度初めに、記載の業務の希望を 120 件すべての家庭にご案内をし、一人一係というように位置づけて PTA 活動に励んできたというところです。資料の写真は、1 学期末の大掃除に、サポーターとしてお手伝いをいただいた保護者の皆様の活動風景です。ご覧の業務の中には、前回の会議でも話題になりました、「朝の交通安全指導」も位置づけてあります。また、ここに記載はありませんが、下校時や部活動終了後には、教職員によって、交通安全と不審者対策を目的とした下校時の巡回指導も行っています。子供たちの安全確保、教職員の業務軽減という視点からも、皆様方の多くの方のお力添えをいただくと幸いです。

続きまして 3 ページ。こちらは、夏休みに行った取組です。左側の T シャツを着ているのが本校中学生の生徒です。右側が岩内東小学校の生徒です。こちらは、小学校から中学校への円滑な接続をねらいとした、小中連携の取り組みとして今年度から始めた取組です。中学生にとっては、教えることによって自身の基礎基本の振り返りと、確かな学力の定着、あるいは小学生への思いやりの心をはぐくむ内面的な成長が図られた取組となりました。また、中学校では、主に定期テスト前に、放課後の学習会も行っています。コミュニティ・スクール先進地域では、地域と学校が一体となった学習支援も行われていると聞いています。岩内町の皆様にも、ぜひご協力をいただきたい内容です。

続きまして 4 ページのスライドになります。こちらは 9 月の 4 日 5 日に行いました、本校の 2 年生が町内を中心とする官公庁・民間企業等の各職場を訪問して行ったキャリア教育の一環としての職場体験学習です。キャリア教育というのは社会的・職業的自立の学習を図るための学習です。写真はイワナイユニテッド代表の目黒さんから説明を受けている場面です。また、今年度は新たに、自衛隊札幌地方協力本部のご協力も賜りました。

多様性が広がるこれからの時代、より多くの業種、職場を子供たちに提示し、豊富な選択肢の中から、実りある職場体験学習を実現したいと考えます。もちろん皆様方におかれましては、生活の糧となるお仕事に、ご迷惑をおかけすることは承知の上ではありますが、より多くの皆様のご協力をいただきながら実りある職場体験学習が実施できるようにお願いしたいところでもあります。

簡単ではありますが、以上で、岩内第一中学校の発表を終わります。今後とも本校の教育活動に、より多くの皆様方のお力添えをいただきながら、より充実した教育活動が推進できますよう、重ねてお願い申し上げます。なお、ここでお話をさせていただきました内容は前期の教育活動の一旦でありますので先ほども宣伝と言いますか、説明させていただきましたが、HP を活用しながら学校の情報を発信していきますので併せてそちらの方もご覧いただきたいと、思います。以上で第一中学校の説明を終了

させていただきます。ありがとうございました。

5. 議題（意見交流及び前期の活動に対する承認）

（司会：佐古岡委員）

はい、それでは学校評価、活動報告を併せて委員の皆様から質問があれば伺いたいと思います。学校評価のところで質問やもう少しここをっていうようなところはございませんか？（なし）

では、それぞれの前期の取り組みについてはいかがでしょうか？

はい、なかなか言いづらい部分もおありかなとは思いますが、前期の評価と活動に対して承認をいただけるのでしょうかということで、レジュメにも（3）意見交流及び前期の活動に対する承認の方を行っていきたいと思いますが・・・

（川上委員）

質問良いですか。

（司会：佐古岡委員）

はい、川上さんお願いします。

（川上委員）

いじめについてですが、具体的にどのような取り組みをしているのかをお伺いしたいのですが。

（岩内第一中・野崎委員）

はい、今回先ほど申し上げたようにいじめとして認知した内容ですが、1人の生徒を複数の生徒が最初はからかう、いわゆる“いじり”という、そういうものがエスカレートしていじられていた生徒が心を痛め、また、軽い気持ちでいじめていた生徒がエスカレートして最終的にいじめと認知をせざるを得ないような状況になりました。学校は、子供の心に訴える指導しかできないというところに尽きます。ただ、今回の認知した内容を受け止め、基本に立ち返って、例えば、昼休み、給食の時間、授業中など何気ない子供たちの様子をこと事細かに我々の複数の教員の目で見ている、そして情報をしっかり共有しながら、いじめの芽を摘むと言いますか、いじめがなくなるための未然防止と言いますか、そういったところを特に重要視しながら改めて基本に立ち返って教職員間の情報共有を含めて些細なことからという第一歩を大事にしようという確認をしました。具体的にいじめに対して特効薬のようなすべて解決・防止できるようなそういったものは残念ながら、なかなかこれだというようなものは具体的には見つからない状況もあります。それは、いじめの質が複雑化してきているということも原因になっていると思います。本校では、認知した件と関わらないところで一般的にいわゆる家庭生活のなかでスマートフォン、SNSです、ね、ラインですとか、そういったものを介して心無い発信からいじめに発展するケースもあります。そういった部分も含めて家庭や地域の方との連携が大事になってくると思いますが、今回の件を含めて今申し上げたような学校生活の中で特に細かな情報を見落とさない・逃さないというところに立ち返る確認をしまして、そういったところで生徒指導部中心に全員が生徒指導部という認識でいじめの未然防止に努めているところです。

（川上委員）

あと、例えば子供たちのアンケートや保護者へのアンケートでいじめのアンケートはやっているのか、それともやっていないのか具体的にはどんな感じですか。

（岩内第一中学校・野崎委員）

はい、それは北海道の中ではすべての公立の小中学校が年に2回決められた時期にちょうど次回が明日から11月ですから、ちょうど11月からいじめのアンケートに対する取組の第2回目を始めるということになっております。この決められた2回の取組で見とれない、あるいは深刻化するような内容があれば適宜、各学校対応でというような形でアンケートは2回に限らず3回4回という風に取り組んでいるところが一般的なところです。

(川上委員)

それも、委員にすれば難しいところだと思いますが、そのアンケートの結果出てきますよね。そのアンケートの中身がどれほど深いのか浅いのか判断するのは先生たち難しいと思うのですが、その辺が一番苦勞するというか、いじめのレベルといいますか、その辺をどういう風にやっていくのかというのがやっぱり、私自身もどういう風にしていいかわからないのですが、みんな考えてやっていくしかないのかなと思います。以上です。

(司会：佐古岡委員)

今の件で関連した質問・ご意見等ありますか？お子様たちがいらっしゃる方も何名かおりますけども。

(石塚委員)

たとえばそういった問題が起きたときに、学校内だけで生徒さんと先生だけでその部分の解決というのは難しいと思うのですが今回の件で、家庭との連携といいますか情報の共有だったり確認していきますというような何か取組とかはあるのですか？

(岩内第一中：野崎委員)

本校で起きた、先ほどから申し上げている認知した件については、双方すべての家庭に事実の報告、指導の内容についても説明といいますか、学校からきちんとお伝えしてそのうえで解決を見ているという状況です。先ほどお話をさせていただいた、些細な情報を見逃さないという部分も含めて、そういう情報を家庭に発信しながら家庭と共に問題が深刻化しないよう、言葉として難しい部分はありますが、たわいもないような冗談がそういったようにいじめに発展するという部分で、家庭に協力を仰ぎながら注意深く見ていただきまして解決の方法に向けて取り組んでいるというところです。子供たちは、学校の先生には言えるけども親に言えない事、もちろん親には言えるけども学校ではなかなか言えない事、そういったことが必ずあると思いますので、そういったところの隙間を埋めていくというような取組を心掛けているところです。

(岩内第一中学校・加藤委員)

加えて補足です。今教頭の方からありました報告についてはまだ解決はしていませんし、終息に向けて継続的に状況を押さえているところですが、万が一新たな実態が明らかになり、終息どころか悪化の状態になった場合については、随時教育委員会と連携を取りながら必要に応じて第三者委員会を開きます。校内でまず、いじめに対する委員会等がありますのでそこで協議をし、その上で教育委員会を通しながら第三者委員会に入ってもらって、きちんと保護者が納得いくような形で進めます。これは、国の行政として指示を受けているものですので、そこは東小学校も同じ体制となっていると思います。そういった部分で被害者が不利益をこうむらないような、それを学校が隠蔽をしたり抑えるようなことは絶対に起こさないように体制づくりをしています。そういうことをご理解いただけたらと思います。

(司会：佐古岡委員)

他にご意見ある方いらっしゃいますか？ (いない)

では、いじめのこと以外で今までの話の中でご意見・ご感想がありましたらお願いします。

申し訳ないのですが、お名前を指名するわけではないのですが、感想で構いませんし、私たちの中も情報がいろいろ欲しいというところもありますので、お声を聞かせていただけたら嬉しいなと思います。今日はこちらで行っているということなので、本校の PTA 会長にもお話を伺いたいなと思います。山王丸さんお願いします。

(山王丸委員)

意見、質問等ということで少し違うのですが、自分は仕事柄、街中で歩道上・道路上で仕事することが多いのですが、下校時間になると子供たちがぞろぞろ帰っていきます。その中で子供たちも挨拶という部分で東小の生徒も一中の生徒も恥ずかしながら顔が有名な方なのかなということ差し引いたとしても、みんな元気よく挨拶をする子が多いのかなという印象があります。また、こっちから言ってあげると元気に返ってくる子も十人十色で色々いるのですが、やっぱり地域の私たちが、住んでいる大人たちでできる環境を作っていくのも一つかなと思うし、防犯上でも色々いい作用が出てくるのではないかなと日々思っていたので、やっぱり地域の大人たちもちょっとずつ大切さという部分で発信していくのはなかなか難しいのかなと思いますが、そういうことをたまに通勤時間の時に考えたりすることがあるのでコミュニティ・スクールで色々できればいいのではないかなと正直思っていました。以上です。

(司会：佐古岡委員)

ありがとうございます。隣にいて岩崎さんどうですか？

(岩崎委員)

最近自分も夜遅くにここの通りを通った時、部活動を終えて帰っていく中学生が結構いるのですが、すぐこの通りが危ないなと最近感じています。そういう部分を防犯の観点から改善していった方がいいのかなと思います。

(司会：佐古岡委員)

この時期暗くなるのも早いですしそういった部分も多いのかなと思います。

では、中学校にお子さんがいらっしゃる一中の PTA の代表として来ていただいていますので、お話を伺いたいと思います。進藤さんお願いします。

(進藤委員)

アンケートの結果なのですが、やっぱり自分の子供のことを聞かれた時になかなか A がつけにくいというような部分や、学校や先生のことを聞かれたときはやっぱり B よりも A をつけたいとか、そういった部分 A よりの B なのか C よりの B なのか、この中でも色々読み解かなければいけない部分もあるのかなと思います。やっぱり自分の子供を全部 A というのはなかなか書きにくい部分もあるので、そういう若干の補正もかかっていると思うので、そのような部分も、読み解いていく必要があるのかなと感じておりました。

(司会：佐古岡員)

はい。ありがとうございます。青柳さんお願いします。

(青柳委員)

表の単純なところで、東小さんの方の「1.基礎基本定着に関わること」の6番と、「2.道徳・生活指導に関わること」の10番のところが、他の回答よりも回答数が少なくなっているのですが、これはこの設問だけは答えにくかったのかという意味なのか、それとも何か書き漏れが多かったのかという、特に

2番の10番は143回とかしかなく、40くらいの回答がなかったようなのですが、この件に関して答えづらかったのか、それともなにか・・・。

(鎌田委員)

私の方でお答えします。今ご指摘あったところなのですか、基本的に複数のお子さんをお持ちの家庭が複数回答していただいている項目は増えているのですが、無回答ですとかあるいは実際解答しなければならないのかという問題もあって、数が減っているのかと思われるのですが、今ご指摘ありましたが、この143という回答数については確認が必要かなと改めて思いましたので、私の方でもう一度アンケートの資料を読み直してみたいなと思います。ご指摘ありがとうございます。

(青柳委員)

点数も高いところだったので、回答が少ないけど点数も高いので、これもちょっとどうなのかなと、回答しづらい人が1とか2をつけたいけどつけられなかったという意味なのか、そうではなくて単純なことなのかというのが気になりました。

あと、先ほど山王丸さんが仕事中に子供たちの挨拶についてお話されていた件で、私も思ったことが、私は趣味でジョギングをやっているのですが、仕事が終わってからやることが多くて、結構子供たちと、遊んで帰る子供たちとか、部活帰りの子供たちとかと会う機会があります。結構私もPTA活動が長かったものですから、一中の子供たちとか特に部活動をやられているお子さんは、立ち止まって挨拶してくれるくらいすごく挨拶してくれる子もいらっしやいますし、逆に私もジョギングしているので私からは中々声をかけたりはしないのですが、ほぼほぼ向こうから声をかけてきてもらって、「こんにちは」と言われたら「こんにちは」というくらいなのですが、全く声をかけてくれないとか、まあ知らない人に声をかけたらだめだよと言われていたからというものもあると思いますが、特に小学生とかはあまり声をかけてきてはくれない。これは全然声をかけてほしいとかそういう意味ではなくて、なんかこう、すごく温度差があって、声をかけていいものなのか、こっちから小学生のよく声をかけてくれる子には声かけて、何も声かけない子には声かけない。というのもなんか変だし、その辺どういう接し方をしたら良いのかなというの、迷うと言いますか、自分でそれをこう中学生だから挨拶いいとか判断をするべきなのかどうかというのがあったりもする場面が幾度かあります。せっかくあっちも挨拶してくれようと思っているのに、こっちからなにも挨拶しないで過ぎちゃったらなんかこっちも申し訳ないと思うし、こっちが挨拶しかけても向こうからなにも反応が無かったら、話しかけなきゃよかったとなるので、こういう難しいところもあるなど。その辺の指導とか何か指導方針とかは共通になっていけば、一中の部活動とか、これも外の部活と中の部活で差があるのかなと思ったりすることもあるのですが、この差があったりする部分でそういう指導方針なのか、町内の学校ですから共通しての指導になっていけばいいと思ったりするところはあります。山王丸さんのお話を聞いてそうだなと思っているところだったので、それだけです。

(司会：佐古岡委員)

ありがとうございます。それでは、地域の方からもお話を伺いたいと思います。高島さんお願いします。

(高島委員)

中学生が小学生に教えたり夏休みに指導したりしているのとかいいなと思いました。教えるということの大変さが生徒もわかってくれるような仕組みが出来るとするのは良いのかなと思います。教える

ことの大変さや教えることの喜びだとか、下の子を信じるだとか、下の子が上の子を敬うだとか、そういうのもせっかくこういう協議会が出来ているのだからどんどんコミュニティが出来ていくといいのかなとすごい思いました。なので、夏休みに中学生が小学生に教えたりとか高学年が下の子たちに教えてあげるだとか、そういうのがどんどん広がってくると部活の共有とかもそういうふうな形になっていくのかもしれないです。子供たちは当たり前前に学校に通っていて先生たちは当たり前前に教えてくれていると思っっていると思うのですが、自分達が教えることによって、学校の先生たちを敬うというのも出てくるだろうし、さっき言っていた挨拶の部分にもつながっていくのかなとすごく思ったので、こういうのは良いなと聞いていて思いました。以上です。

(司会：佐古岡委員)

先ほどははじめの件でご質問されていましたが、川上さんそれ以外のところで何かありますか？

(川上委員)

以前、教育委員会にいたのですが、支援の関係で、例えば立派な大人たちの趣味を活かして子供たちに教えること、お手玉ですとか音楽授業で琴とか色々なことをやっていたのですが、隣に高島さんがいらっっしゃいますが、観光的なものも子供たちに「岩内の観光でこういったものがありますよ」ですとかそういうふうに子供たちに指導してくれるような人も沢山いると思うんですよ。そういう機会もあつたらいいのではないかなと思います。

(司会：佐古岡委員)

お子さんも本校にいらっっしゃいますが、水産加工で岩内ならではのお仕事をされている石塚さんからもお願いします。

(石塚委員)

今の色々特技を活かしたという部分は、岩内の観光にしても、この地域ならではのいい部分をどんどん子供たちに体験や体を通じて身に付けてほしいなと思います。仮にそういうお話いただけるなら、喜んでどこにでも飛んでいきますのでよろしくをお願いします。

あと、先ほどお話が出ていた挨拶のところですが、一中さんと東小学校さんとでどういった指導となっているのかという部分を例えばこういった会議の席でこの議論しましょうとなると、しっかりルールになっちゃって、なんだか堅苦しくて面倒くさいことになっちゃうような気がします。人と人がすれ違って挨拶するというのはルールや決まりとかではなく、人間としてあるべきものだったりするので、そういったことも委員の皆さんで普通に普段から心がける程度から始めてみるのもいいのではないかなという気がしました。

(司会：佐古岡委員)

ありがとうございました。いろいろお話伺ったうえで校長先生方から何かあればお願いします。

(東小・齊藤委員)

ありがとうございました。挨拶の件が出ていましたが、道行く人すれ違う人には子供たちは多分挨拶をあまりしていないと思っています。相手からされても戸惑う子の方が多いのかなと感じています。こういうご時世なので悲しいことですが、変に声をかけると、善意で声をかけた人が不審者扱いされるというような事案もありますので、少し難しいところはありますが、校内に来ているお客様には比較的自分から声をかけられるのですが、道行く人にすれ違いで挨拶するというのはあまりないのかなと思っながら聞いていました。大人の人でも同じだと思うのですが、今石塚さんもおっしゃってくださいましたけ

れども、私も毎朝立っていて自転車で通っていく方や働きに行かれる方々に最初は「おはようございます」と声をかけています。それを繰り返して、1カ月2か月経つと相手の方も挨拶してくれるようになりました。やっぱりその繰り返しとか子供もそういう経験を通してやるっていうのが大事なことなのかなと思います。ですから、できれば道行く人同士、大人同士も声をかけ合っているし子供も大人の人に声をかけるし、大人の人も子供にも声をかけるような、そういう地域づくりとかそういうところから始めていければいいなと。子供だけに求めるのではなく、地域の雰囲気としてそういうものが出来上がれば嬉しいなと思います。もちろん学校としては挨拶の場を広げていきたいと考えています。そうすると安心安全も広がりますよね。ありがたいことだなと思いました。ありがとうございます。

(岩内第一・加藤委員)

挨拶のところですか。学校全体で取り組んでいることもそうですが、特に部活動は1つの方針としてやっています。学校としては、いろいろな考え方はありますが、私は子供たちに街で会ったらどンドンしてくださいと言っています。挨拶が良いか悪いかは自分たちの評価や学校関係者ではなく、「地域の人たちの評価だぞ」というのはずっと言っています。まだまだ足りない部分はありますが、子供たちは少しずつそれを理解して、先生方はそれを子供たちに反映してくれていると思います。地域によっては防犯の関係から知らない人に声をかけないというのは当然ありうるのですが、私はこの岩内町で5年間お世話になりながら、町自体はそんなに大きくないし、確かに知らない人も沢山いるのですが、これくらいの規模であれば知らない人にも元気に明るくできるような中学生であってほしいし、逆にそれが防犯につながるのではないかなと思います。

実は毎朝、私も校門前に立っていますが、多分宮園の方だと思うのですが、毎朝散歩をしている男性の方がいらっしゃいまして、子供たちは最初、全く挨拶をしませんでした。その方もそれに対してうんぬんとか一切言わず、続けていたのですが、1学期の後半あたりから少しずつ子供たちが挨拶するようになり、そうしたらその方もわざわざ帽子を脱いで挨拶してくれるようになりました。岩内の子供たちはピュアである分なかなか内向的なものも多いですけれども、慣れてくるとそういうことができる子供たちなので、やっぱりそれを石塚さんもおっしゃっていましたが、強制ではなく、子供たちから主体的に出るような挨拶になることを地域の皆様と共有できれば間違いなくいい喚起ができるし、多分東小学校さんでもそういう感じで今指導していただいている積み重ねが中学校になって少しずつ実を結んでいくのかなと思います。ご理解いただいたり、地域で発信していただけるとありがたいなと思います。

(司会：佐古岡委員)

いじめのことですか挨拶のことですか色々ご意見を聞いて明日からまた気持ちよく挨拶ができそうだなという気持ちになりました。皆さんからいろいろ聞かせていただいて本当に良かったなと思います。ありがとうございます。では、前期の学校評価と活動についてはご承認をいただいたということよろしいでしょうか？ありがとうございます。

その他ご意見・話題等お持ちの方いらっしゃいますか？

(阿部委員)

全然関係のない話なのですが、一中祭も東小の学芸会も忙しくて見に行けなかったのですが、昨日の音楽交歓会を観に行きました。東小の5年生ですよ、歌ってたの。全体合唱で歌っていた5年生がすごく元気が良くて、あれは良いなと思いました。あと、一中生の3年生の合唱も良かったし、吹奏楽部の演奏も素晴らしいと思いました。ずっと聞いていてリズムに乗ってずっと拍手をしっぱなしでした。あれ

は観に行ってもよかったなと思っています。

(司会：佐古岡委員)

ありがとうございました。早速伝えて明日またその話を分かち合いたいと思います。一通り話がありましたが、会長の方から皆さんのお話を伺った上で何かありませんか？

(佐藤委員)

実は私も不審者扱いされたことがあります。個人的には学校では挨拶は早いもの勝ちだぞと言っています。あとは取組が斬新なものもあって、すごい心に響きました。本当に素晴らしい取組をありがとうございます。今、子供たちの思春期が遅れていると言われて、実際すごく感じます。だけど、こういう活動をやっていると、無邪気なままじゃいけないのだなというのを、どっかでこう感じてもらえるのかなと思っています。大変感謝しています。ありがとうございます。以上です。

(司会：佐古岡委員)

せっかく来ていただいているので、竹内さんどうですか？

(岩内教育委員会・竹内さん)

2点お話しさせていただきます。

まずは、川上さんからもお話がありました、「大人の趣味を学校の活動に活かすという」部分、実はこのコミュニティ・スクールの次のステップである地域協働本部との連結として必要になります。この場、学校運営協議会は体でいう「脳」であるのに対し、地域協働本部は「手足」に位置づけられます。今後は、岩内教育委員会として、どのように仕組みづくりをしていけばいいのかなと話をしているところです。例えば、私が観光部門に携わっていた頃、「観光の視点からの地域づくり」に取り組んでいたこともあり、そういった部分から、子どもたちに授業や活動を通して、岩内ならではの観光・歴史・文化を体験・学んでほしいなとも思っているところです。

もうひとつは、今、小中学校に配置しているALTについてです。2人のALTはJETプログラムという事業を活用し、小学校1名と中学校1名に配置しています。彼らは、基本的には自身が就職する前に人生の経験を積むことを目的としてJETプログラムを活用し日本に来ています。いい意味でプロの教師ではないので、素のアメリカ文化を持った人材と交流することができる点がいい部分であると思っています。ALTは今のところ、英語の授業を主に担当しており、それ以外の時間を地域活動などに活用できることもありますので、学校運営協議会での企画提案の際にご活用いただければと思っています。

(司会：佐古岡委員)

今日は町教委の方からオブザーバーということで来ていただいてお話していただきました。ありがとうございます。

以上で議題の方を終えたいと思いますが、工藤さんもお話しましょう。

(工藤委員)

挨拶についてお話がありましたけれども、僕はこんな感じなので不審者扱いされたことはないのですが、僕自身も今年新採用でお世話になっておりまして、やはり最初の頃どう子供たちと接していけばいいのかわからなかったのですが、やっぱり挨拶は生きていくうえで基本となるものだと思うので、今まで受け身だった部分もあるのでこれからは積極的に自分から挨拶していきたいなと思いました。以上です。

(司会：佐古岡員)

ありがとうございます。鎌田委員お願いします。

(鎌田委員)

今日は本当にありがとうございました。お話を聞きながら記録をとっていたのですが、改めて気づかされたのが、先ほどの進藤さんのおっしゃっていた、アンケートの在り方です。A とつけづらい、B とつけづらいと。表面上に現れてくる数字とその裏でどういうふうに B をつけたかっていうのは残念ながらどうやっても、エクセルを使っても出てこない部分もあるので、日頃から子供たちのことをみてそのちょっとした様子にも気づく目だとか、あるいは保護者の方とか、地域の方とお話をする中で肌で感じるものが極めて大事なんだと感じさせられたところです。ありがとうございました。以上です。

6. 連絡

(司会：佐古岡委員)

では、連絡事項に入ります。第3回学校運営協議会についてですが、今回は1年間を通した学校経営の総括ということになっておりますので、次年度に向けて、皆様に「来年はもっとこうした方がいい」だとか、「こうやってはどうか。」というようなそんなご意見や要望を伺いたいと思いますので、これからの小学校・中学校の様子をこんな風にしたいんだというものをどんどん出してくれたらなと思います。今日もありがたいお言葉沢山いただきました。ご案内については事前にできるだけ早くこの日ということでご案内を出していきたいと思っております。また、それぞれの学校で行うことについてのご案内等も発信していきたいと思っておりますのでご都合ついたら足を運んでいただけたらありがたいです。

8. 閉会

今日は長い時間夜遅くまでありがとうございました。また、次回楽しみにしております。以上を持ちまして第2回学校運営協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。